

第75回日本臨床眼科学会 ランチョンセミナー LS26

Alcon

日時：2021年10月30日（土）12:50～13:50

会場：第3会場（福岡国際会議場 メインホール）

瞳孔異常眼の 白内障手術

これで
バッチリ!

by Evidence Club

命題

～エビデンスに基づいて
苦手意識を克服しよう!～

演者

瞳孔と視機能、
多焦点IOLの影響

北里大学
神谷 和孝先生

瞳孔操作・瞳孔拡張の
Management

中京眼科・慶應義塾大学
小島 隆司先生

IFISの
Management

六本木 柴眼科
柴 琢也先生

人工虹彩、瞳孔欠損の
Management

宮田眼科病院
森 洋斉先生

座長

宮田眼科病院
宮田 和典先生

座長抄録

元来、医師はエビデンスを元に患者の治療にあたる。そこで、重要なのはそのエビデンスの質である。そこで我々は、臨床で直面する白内障の諸問題を、いわゆる個人的な感想や不十分なデータによる評価ではなく、臨床研究をもとにした確固たるエビデンスを元に解決する白内障エビデンスクラブを立ち上げた。メンバーは、白内障分野でこれまで十分実績を上げてきた臨床研究のエキスパートたちである。エビデンスクラブの第2回目のテーマは、瞳孔異常眼とした。瞳孔異常眼における白内障手術において、眼内レンズの選択、術式、瞳孔操作や虹彩欠損など、臨床において誰もが一度は悩んだことがあり、議論の多い問題である。本セミナーでは北里大学の神谷先生から瞳孔と視機能、多焦点 IOL の影響について、慶應義塾大学・中京眼科の小島先生より瞳孔操作・瞳孔拡張の Management について、六本木柴眼科の柴先生より IFIS の Management について、宮田眼科病院的森先生から人工虹彩、虹彩欠損の Management について十分なエビデンスを元に検討していただく。本セミナー内容が先生方の明日からの臨床に応用できるエッセンスとなれば幸いである。

共催：第75回日本臨床眼科学会／日本アルコン株式会社

Alcon

SMS352-1

2107TNK
JP-ACP-2100081